

新潟市教職員の資質向上に関する指標〔栄養教諭〕

目指すこどもの姿	目指す人間像	目指す学校園教育
人とかかわることを通し、自ら判断・決定し、 夢や目標の実現に向かう姿	しなやかに 世界と未来を創る人	「多様性」を前提とし、全てのこどもたちの「自分らしさ」が発揮され、 「可能性を引き出す」教育
新潟市教育振興基本計画「にいがた学びのコンパス」		

本指標を活用し、これらを実現できる教職員としての資質・能力を高めていく。

新潟市教育委員会(令和8年4月)

			項目	新潟市が求める 着任時の姿	第1ステージ		第2ステージ		第3ステージ		
					1 習得期		2 習熟期		3 充実・還元期		
					食育に関する指導や学校給食管理等の担当業務を中心に、児童生徒と誠実に向き合いながら、業務の基礎・基本と栄養教諭としての素養を習得する		栄養教諭としての専門性を向上させ、食育指導や学校給食管理等の担当業務遂行能力を高める		自己の能力や専門性にさらに磨きをかけるとともに、他の栄養教諭が各種能力を高め、専門性を向上できるように支援する		
A 実践力	実践を食育の推進に当てるための児童生徒の能力課題	栄1 給食管理	衛生管理	・関係法令に基づいた栄養管理・衛生管理の重要性及び基礎・基本について理解する。 ・栄養管理や衛生管理について基本的知識を身に付けている。	1A1	・学校給食衛生管理基準に基づき、施設設備及び食品の衛生管理に適切に対応するため、調理従事者に対し、指導・助言を行う。 ・学校給食摂取基準等に基づき、食品構成を考慮した献立を作成する。 ・衛生管理及び食物アレルギーに配慮した献立を作成する。	2A1	・学校給食衛生管理基準等に基づき、施設の課題を的確に捉え、衛生管理の充実を図るため、調理従事者及び教職員に対し、指導・助言を行う。 ・児童生徒の栄養摂取状況を適切に把握し、現状を評価し、改善する。	3A1	・学校給食衛生管理基準等に基づいた衛生管理の充実を図るため、自校や市内において指導的な役割を果たす。 ・適切な献立作成及び調理、配食等について、自校や市内において指導的な役割を果たす。	
			栄2 食に関する指導	各教科等における指導	・関係法令や学習指導要領に基づき、教育活動全体を通して食育を推進する意義について理解する。	1A2	・児童生徒の実態に基づき、食に関する指導計画の作成に参画し、学校給食を生きた教材として活用しながら、食に関する指導を教職員と連携して計画的に行う。	2A2	・食に関する指導計画の作成に中心的な役割を果たし、学校教育活動全体において系統立てた指導を、教職員と連携して計画的に行う。 ・児童生徒の食に関する健康課題について、教職員や保護者と連携し、児童生徒の課題の改善に向けて組織的に取り組み、専門性を生かした効果的な指導・支援を行う。	3A2	・食に関する指導の指導内容及び評価・改善について、専門性を生かし、他の教職員に指導・助言する。 ・食育のカリキュラムマネジメントの確立に向けて、食に関する指導の評価・分析を行い、成果と課題を明確にし、食に関する指導計画改善に向けて、中心的な役割を果たす。 ・児童生徒の食に関する健康課題を総合的に把握し、教職員や保護者、関係機関等と連携・協働しながら指導を推進し、課題を改善する。
			給食の時間における指導	・児童生徒の食に関する健康課題に対する、個別な相談指導の基礎的知識を身に付けている。	1B5	・一人一人の児童生徒の実態や状況を多面的に理解・把握するとともに、個々の悩みや思いを共感的に受け止める。	2B5 3B5	・一人一人の児童生徒の実態や状況を多面的に理解・把握するとともに、個々の悩みや思いを共感的に受け止める。 ・いじめ・不登校の課題を抱える児童生徒及びその保護者に対して、関係者と連携して適切な支援を行う。	3B7	・児童生徒や教職員の生命・心身を脅かす事故・災害・ハラスメント等、様々な場面に对应できる危機管理の知識や視点を備え、全校的な視野に立ち、他の教職員に指導・助言する。	
			個別な相談指導	・児童生徒の食に関する健康課題に対する、個別な相談指導の基礎的知識を身に付けている。	1B6	・一人一人の児童生徒の実態や状況を多面的に理解・把握するとともに、個々の悩みや思いを共感的に受け止める。	2B6 3B6	・一人一人の児童生徒の実態や状況を多面的に理解・把握するとともに、個々の悩みや思いを共感的に受け止める。 ・いじめ・不登校の課題を抱える児童生徒及びその保護者に対して、関係者と連携して適切な支援を行う。	3B8	・児童生徒や教職員の生命・心身を脅かす事故・災害・ハラスメント等、様々な場面に对应できる危機管理の知識や視点を備え、必要な指導を確実に行う。	
B マネジメント力	児童生徒の参加の促進と資質・能力の把握	5 いじめ・不登校への対応⑪⑫	キャリア教育視点でのよさや可能性の伸張⑩⑬	・キャリア教育の視点をもつ意義を理解する。	1B7	・児童生徒や教職員の生命・心身を脅かす事故・災害・ハラスメント等、様々な場面に对应できる危機管理の知識や視点を備え、管理職に報告し情報を共有しながら対応する。	2B7	・児童生徒や教職員の生命・心身を脅かす事故・災害・ハラスメント等、様々な場面に对应できる危機管理の知識や視点を備え、必要な指導を確実に行う。	3B7	・児童生徒や教職員の生命・心身を脅かす事故・災害・ハラスメント等、様々な場面に对应できる危機管理の知識や視点を備え、必要な指導を確実に行う。	
			7 リスクマネジメント⑤	・学校にかかわる様々な危機への対応策を理解する。	1B8	・地域教育コーディネーターや社会教育施設関係者等の役割や業務内容を理解する。 ・保護者や地域に積極的に関わり、連携・協働して食に関する健康課題解決に取り組む。	2B8	・地域教育コーディネーターや社会教育施設関係者等の情報を基に、食に関する健康課題の解決に取り組む。	3B8	・学校教育ビジョン達成のために、家庭、地域、社会教育施設等関係機関、他の教職員等と連携・協働して効果的に実践する。 ・有効な連携・協働の方法について、他の教職員に指導・助言する。	
			8 コーディネート④	・家庭や地域、関係機関の役割や業務内容を理解する。	1C9	・新しい時代における教育を意識し、自らの力量向上を目指して研究と修養に励み、組織の中で自らの役割を果たそうとする。 ・職務や役割を十分自覚し、責任を回避せず最後までやり遂げる。	2C9	・新しい時代における教育を意識し、自らの力量向上を目指して研究と修養に励み、組織の中で自らの役割を果たそうとする。 ・職務や役割を十分自覚し、責任を回避せず最後までやり遂げる。	3C9	・最新の教育的動向を把握し、学校運営の持続的な改善を支えられるように創意工夫をして業務を遂行する。 ・既成概念にとらわれず、多様な視点で発想できる創造的思考を持ち、新しい発想で改善や提案を行う。	
			9 使命感・熱意①③	・絶えず研究と修養に励み、学んだことを生かす意欲とやり遂げようとする意志がある。	1C10	・学校及び教職の意義や社会的な役割・サービス等を理解し、法令や「新潟市における法令遵守の推進等に関する条例」を遵守する。 ・教育公務員として、社会的な常識を踏まえ、高い倫理観と責任感をともなった行動をとる。	2C10	・学校及び教職の意義や社会的な役割・サービス等を理解し、法令や「新潟市における法令遵守の推進等に関する条例」を遵守する。 ・教育公務員として、社会的な常識を踏まえ、高い倫理観と責任感をともなった行動をとる。	3C10	・自己の特性を把握し、業務の結果を常にモニタリングしながら目標達成に向けてモチベーションを維持して仕事に取り組む。 ・節度ある生活を心掛け、悩みや不安を一人で抱えこまずに管理職や教職員に相談するなどして、心身の健康を維持する。	
C 人間力	教員としての適意をもつ職業を遂行	10 社会認識・コンプライアンス①②	コミュニケーション②	・多様な他者と積極的に接し、良好な人間関係をつくる。	1C11	・児童生徒、同僚職員、保護者、地域の人等の声に傾聴し、自らの意見も効果的に伝えつつ、円滑なコミュニケーションをとり、良好な人間関係をつくる。	2C11	・児童生徒、同僚職員、保護者、地域の人等の声に傾聴し、自らの意見も効果的に伝えつつ、円滑なコミュニケーションをとり、良好な人間関係をつくる。	3C11	・児童生徒、同僚職員、保護者、地域の人等の声に傾聴し、自らの意見も効果的に伝えつつ、円滑なコミュニケーションをとり、良好な人間関係をつくる。	
			12 セルフマネジメント③	・自己の特性を理解し、その時々でモチベーションを維持して活動に取り組む。	1C12	・自己の特性を把握し、業務の結果を常にモニタリングしながら目標達成に向けてモチベーションを維持して仕事に取り組む。 ・節度ある生活を心掛け、悩みや不安を一人で抱えこまずに管理職や教職員に相談するなどして、心身の健康を維持する。	2C12	・自己の特性を把握し、業務の結果を常にモニタリングしながら目標達成に向けてモチベーションを維持して仕事に取り組む。 ・節度ある生活を心掛け、悩みや不安を一人で抱えこまずに管理職や教職員に相談するなどして、心身の健康を維持する。	3C12	・自己の特性を把握し、業務の結果を常にモニタリングしながら目標達成に向けてモチベーションを維持して仕事に取り組む。 ・節度ある生活を心掛け、悩みや不安を一人で抱えこまずに管理職や教職員に相談するなどして、心身の健康を維持する。	
			13 創造性	・創意工夫をして業務を遂行する。	1ABC14	・UDの視点を基に一人一人の特性に応じた支援の工夫を授業に取り入れる。 ・「個別の教育支援計画」の内容を確認し、支援に必要な情報を整理し、合理的配慮を行う。	2ABC14	・一人一人の学びと生活を支える支援の工夫を、授業に継続的に取り入れる。 ・「個別の教育支援計画」を基に、関係者と協働し、支援の質を高める合理的配慮を行う。	3ABC14	・これまで行った合理的配慮や支援の実践を基に、校内や研修会等で共有・発信する取組を行う。 ・校内の支援体制の充実に向けて、他の教職員への助言や支援を行う。	
			14 特別な配慮や支援等の対応⑮	・児童生徒の多様な特性を理解し、協働的に支援を工夫・実践しようとする姿勢をもつ。	ABC15	・学校におけるICT活用の意義を理解し、AIを含めたICTや教育データを適切・安全・効果的に活用し業務改善を図る。					
		ABC共通項目		15 情報活用⑯⑰							